

# 森林・山村多面的機能発揮対策交付金についての概要

## 1. 背景・課題

森林・林業を支える山村において、過疎化等の進行に伴い、地域住民と森林との関わりが希薄化し、森林の手入れが行われなくなったことで、竹の進入等による里山林の荒廃が進行しているため、森林の有する多面的機能の発揮が難しくなっています。

森林の多面的機能を持続的に発揮させていくためには、山村地域の住民が協力して里山林等の保全管理や森林資源の利活用を実施していく体制を整えることが不可欠です。

このため、事業を実施するにあり森林・山村多面的機能発揮対策交付金を交付するものです。

## 2. 事業内容

地域住民が中心となった民間協働組織（活動組織）が実施する、地域の森林の保全管理等の取組に対し、一定の費用を国が支援します。なお、交付金の申請にあたっては、都道府県単位に設立される地域協議会（公益財団法人森林ネットおおいた）に申込みをしてください。

## 3. 活動への支援

### ① 活動推進費

3ヶ年の活動計画の具体化に対する支援（助成単価：初年度のみ 15 万円）

### ② 地域環境保全タイプのうち「里山林保全活動」

里山林景観を維持するための活動（助成単価：16 万円/ha）

### ③ 地域環境保全タイプのうち「侵入竹除去、竹林整備活動」

侵入竹の伐採・除去活動（助成単価：38 万円/ha）

### ④ 森林資源利用タイプ

集落周辺の広葉樹等の搬出活動（助成単価：16 万円/ha）

### ⑤ 森林空間利用タイプ

森林環境教育の実践（助成単価：5 万円/回、上限 12 回）

### ⑥ 資機材への支援

②～④の活動を実施するために必要な機材及び資材の購入・設置に対して、必要額の 2 分の 1 を助成